

ひろば

福岡教育大学附属図書館報 第137号

後援会寄贈図書を紹介

図書館二階のAVルーム横に福岡教育大学後援会からの寄附金で購入した後援会寄贈図書のコーナーがあるのはご存じですか？



今年も福岡教育大学後援会より学生用図書費の寄附があり、図書館で287件(図書204冊・DVD73本・CD10本)の選書を行いました。

★文学賞受賞作品

芥川賞	諏訪哲史	「アサッテの人」	講談社
直木賞	桜庭一樹	「私の男」	文芸春秋
	松井今朝子	「吉原手引草」	幻冬舎
吉川英治新人賞	佐藤多佳子	「一瞬の風になれ 全3巻」	講談社
江戸川乱歩賞	菅根圭介	「沈底魚」	講談社 など

★ベストセラー図書

田村裕	「ホームレス中学生」	ワニブックス
美嘉	「恋空 上・下」	スターツ出版
武田邦彦	「環境問題なぜウカがかり通るのか 全2巻」	洋泉社
川口晴	「犬と私の10の約束」	文芸春秋
島田洋七	「佐賀のかばいばあちゃん」	徳間書店
水野敬也	「夢をかなえるソウ」	飛鳥新社 など

★教育・環境問題図書

実川真由	「受けてみたフィンランドの教育」	文芸春秋
有田和正	「すぐれた授業の創り方入門」	教育出版
森川敦子	「教師としての話し方・聞き方チェックポイント」	明治図書

寄贈図書特集

Side A : 後援会寄贈図書紹介
Side B : 教職員寄贈図書紹介

枝廣淳子 「地球のためにわたしができること」 大和書房
船越博 「地球はもちつもたれつ」 大学教育出版 など

★視聴覚資料

(DVD)

情報の達人 全3巻(ゼミのテーマ選びからプレゼンまで)
大西泰斗 「ハートで感じる英文法 [正編]」
「ハートで感じる英文法 会話編」
プロフェッショナル 仕事の流儀 第2期
その時歴史が動いた 幕末編
時代のリーダーたち編
乱世の英雄編
ハリー・ポッター不死鳥の騎士団
レミーのおいしいレストラン
ダ・ヴィンチ・コード
旭山動物園の世界
大草原の小さな家 など

(CD)

落語集 全10巻 (古典落語の決定版です)

★そのほか語学学習資料や生き方をアドバイスしてくれる資料など

時には図書館のAVルームでリフレッシュしてみませんか? 語学学習用資料も徐々に選書予定です。



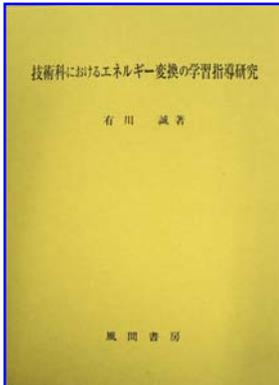
後援会からの寄附金により、本学学生のために一般教養図書を購入できることに、心より感謝いたします。

教職員寄贈図書を紹介

今年度、図書館にご寄贈いただきました先生方の著書をご紹介します

図書館開架室に配架していますので、どうぞご利用ください

有川 誠著『技術科におけるエネルギー変換の学習指導研究』



風間書房

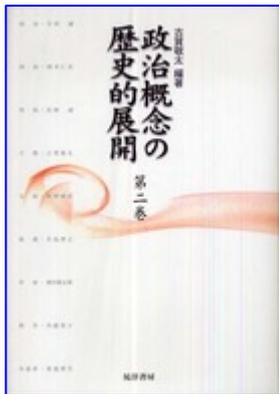
2007年12月発行

本書は、2005年に東京学芸大学に提出した博士学位請求論文「技術科教育における内燃機関によるエネルギー変換の学習指導に関する研究」を、2007年度科学研究費補助金・研究成果公開促進費の交付を受けて公刊したものである。

本書ではエネルギー変換の学習指導の方法論を明らかにするために、まず学習者の状況や思考傾向を丹念に調査し、これをふまえた学習指導理論及びカリキュラムを開発した。さらに学習指導理論に基づく段階的な複数の学習指導法を考案し、実験授業を通してその有効性の評価を行った。この結果、考案した学習指導法はいずれも有効性が確認され、学習指導理論や開発したカリキュラムの意義や妥当性も確かめられた。このような、具体的な学習指導方法論を明らかにし提案できたことが、本書の最も大きな意義である。

< 第二開架室 375.5//A71 >

竹島博之ほか著、古賀敬太編著『政治概念の歴史的展開 第二巻』



晃洋書房

2007年10月発行

本書は、政治学上の重要概念をそれぞれ古代・中世・近代・現代の論争の4つに分けて、その意味が歴史的にどう変化したかを追跡し、概念のより深い理解を目指しています。本巻には、政治・国民・契約・主権・支配・独裁・革命・戦争・共通善の9つが収められており、いずれも政治学上では欠かすことのできない重要な概念ばかりです。私が担当したのは「独裁」ですが、独裁と聞いて良いイメージを抱く人はいないと思います。けれども私たちのそうしたイメージとは対照的に、独裁は古代から初期近代の頃まで、意外なことに共和国の自由を守る大切な制度だと考えられていたのです。

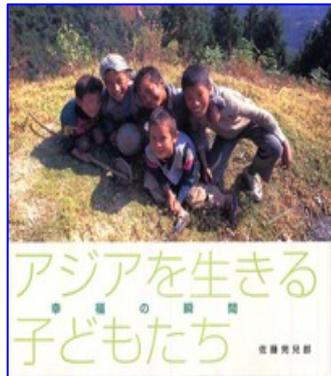
このように、特に政治で用いられる言葉は、時と場所によって現代とはまったく異なる用い方がなされている場合があります。そうした違いを、時代状況を含めて学習するのに役立つ図書となっておりますので、政治の言葉がよく分からないときは、本書を紐解いてみてください。

< 第一開架室 311.2//Ko24//2 >

佐藤完児郎著『幸福の瞬間—アジアを生きる子どもたち』



中国（肇興）



朝日新聞社

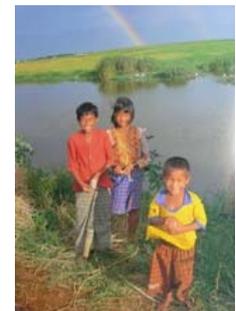
2007年9月発行



ラオス（ビエンチャン）



ネパール



ミャンマー（インレー湖畔）

子ども時代を子どもらしく生きることによって育まれる「内なる子ども」。その「内なる子ども」を大切に育ててゆけば、大人になっても「みずみずしい世界」との接触を忘れることはないし、物質的な価値をむぐる他者との争いごとからも距離を保つことができる。「内なる子ども」を育てということは、自由で慈しみに満ちた心を育てるということである。 < 第三開架室、子ども図書室 748//Sa85 >

(アンナプルナ・ランドルン)